

令和3年度 第2回湖南省立図書館図書館協議会 会議録

- 開催日時 令和3年10月20日（水） 午後7時00分～8時35分
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2階視聴覚室
- 出席者 図書館協議会委員9人（欠席者：1人）
事務局3人
- 傍聴人 3人
- 開 会 [あいさつ]
- 議 事 1) 令和3年度湖南省立図書館事業実績報告について（第2四半期）
2) その他

議長	それでは、議事に入らせていただきます。事務局から、議事1について説明をお願いします。
事務局	時間の関係上、事前に配布しました資料の読み上げは省略させていただき、委員のみなさまからの意見やご質問をいただく時間に充てさせていただきます。 以前にもお伝えしたかもしれませんが、本来図書館は、資料を集め、みなさんに集って交わっていただき、出会いの場を提供する場です。ですが、このコロナ禍で「非来館型サービス」という矛盾した方針でサービスを進めなければならない状況です。そのため、今まで指標としていた来館者数や貸出冊数を増やすことを目標としてサービスを進めることができないことについては、御理解いただきたいと思えます。ただ、数字についての御意見・御質問は受けさせていただきます。
議長	コロナ禍でイベントはまったくできていないのでしょうか。
事務局	2階展示コーナーでの展示やイベントは実施していませんが、図書館主催のおはなし会や開架室での展示は実施しています。
委員	コロナの影響で図書館から遠のいています。知人とも図書館に行かなくなり、本屋で本を購入する機会が増えたので家に本が増えたと話しています。図書館に図書除菌機が設置されていることを伝えると、図書館に行っている人は知っていますが、行っていない人は知らないことが多かったです。このような時期なので、図書館に行くことを敬遠している人も多いのではと思います。 質問ですが、資料の貸出人数のカウント方法は、同一人物が月に2回借りた場合は1人になりますか？2人になりますか？
事務局	延べ人数でカウントしているため、2人になります。
委員	市民の何%が利用しているか分かるのでしょうか。
事務局	実利用者数として、年1回以上湖南省立図書館利用カードを使っていたいただいた人数を、年間で統計を出しています。この数字は延べ人数ではありませんし、利用カードを持っていても1年間利用がなかった人は含まれていません。 令和2年度 7,482人 13.6% 令和元年度 8,941人 16.3% 令和2年度は明らかに低くなっています。今年度も今の状況では大きく伸びることはないだろうと考えています。
委員	全国的にもそのような状況なのでしょうか。

事務局	<p>一昨年と比べて2割～3割減っている図書館がかなりあります。利用人数の目標として、市民の20%～30%、本来は50%～60%の利用を目指すべきですが、どの市町村も達成できていないのが現状だと思います。</p>
委員	<p>私も、本は読みかけると次も…と続くのですが、やめてしまうと次読むのが億劫になることがあります、子どもにもそういうところはあると思うのですが、子どもが本好きになるための活動は何かされていますか。</p>
事務局	<p>本に接するきっかけとして2つの事業を実施しています。</p> <p>①ブックスタート</p> <p>赤ちゃんの4か月児健診・10か月健診の受診率は97%前後とされています。残り3%には里帰りのかたも含まれますので、ほぼ100%の人が受診しています。受診者の保護者の中には、普段本にふれることがない人もおられますが、そのような人も含めて本に接していただくチャンスです。その場で本の重大さとか、本を渡すことで本に親しんでいただくということに図書館として積極的に関わっていくことを今までは実施していましたが、コロナ禍で健診時に対面で時間をかけて実施するにはリスクがあるという方針になったため、図書館で実施することにし、健診時にクーポンを渡し、おおよそ1年以内に図書館に来館いただくということで対応しています。来館されるまでに時間差がありますので確定した数字ではありませんが、保健センターでしていたときのように100%近くのかたにお渡しはできておらず、10～20%という状況です。</p> <p>②移動図書館車マツゾウくんの園への運行</p> <p>5歳児のこども園・保育園・幼稚園への就園率は90%を超えています。そこで、市内の園に希望を取り、5歳児がいる園は希望されなかった2園を除き全て運行しています。その年代に本を借りるということが習慣づけられましたら、大きなポイントとなります。そのため、5歳児が中心とはなりますが、自分で選んで、本を借りて、自宅で読んでもらうということを月1回、年間10回～12回することで習慣づけるということに取り組んでいます。</p>
委員	<p>カウンターでの受付で気になることがあるのですが、自分は突発性難聴を患っているため元々話が聞き取りにくいのですが、コロナでシートが張られるようになってから話を聞き取ることにしてもものすごくハードルが高くなりました。先日テレビで受付の人が話すと透明なガラスボードに文字が映るという機械が設置されていると放送していました。筑波大学の学生グループが開発し、つくば市役所で使用されているそうです。1対1だとまだ聞き取れるのですが、大勢の場だと聞き取りにくいので、そのような機械があれば受付に行きやすくなります。先日図書館を利用したとき、職員の話が聞き取れず、帰ってから内容が分かりましたので、コロナのため仕方がないのですが、マスクをして話をされますので、こちらである程度想像して聞いています。ですので、障がいがある人も気楽に図書館に来られるような物や対応があればと思います。本日集音器を始めて使用したのですが、慣れた言葉だと聞き取れるのですが、そうでない音は聞き取りにくいです。そのようなかたから苦情などはないでしょうか。</p>
事務局	<p>苦情については今のところ聞いていません。ただ、国もなんとかしないといけないと考えており、令和元年度に「視覚障害者等の読書環境の整備の促進に関する法律</p>

	<p>(読書バリアフリー法)」が策定されました。その中に、読書のバリアフリーを進めるために国はこういう責務があるということとともに、地方公共団体にもこういう責務があり、そのため基本計画を策定しなければならないと規定されています。国は令和2年度に基本計画を策定し、公開されています。滋賀県では現在「(仮) 滋賀県読書バリアフリー計画」検討懇話会を開催し、盲・ろうなどのいろいろな団体が集まって県の基本計画について協議しており、まもなく素案が公表され、今年度中に策定される予定です。令和4年度には湖南省も市としての読書バリアフリーの基本計画を策定する予定であり、その準備を現在しています。その中で、いろいろな人から意見をいただき、どのようなことができるのかも協議していきます。ただ、今提案いただいたつくば市役所の機械ですが、お聞きした話から推測すると導入金額も高く、維持も難しいと思われるので導入することは難しいです。ですが、簡易な記入後消えるようなボードであれば設置できると思います。</p> <p>また、来年度湖南省で計画を策定する際に、策定のための審議会を設置することまでは難しいと考えており、図書館協議会委員のみなさまに、進行状況を報告し、意見をいただけたらと考えていますので、その時には具体的な意見を提案いただきたいと思います。</p>
議長	<p>今のご意見、それこそが提案になります。購入できるかは分かりませんが実体験に基づく1つの参考例になると思います。</p>
委員	<p>難聴の場合、聞こえていても脳が理解しないという障がいがある場合もあります。また、障がいがあることについて、私は周囲の人に言えますが、言えない人もいます。また、見た目には分からないので気が付かれることも少ないです。ですので、このような公共の場では特に配慮していただきたいと思います。</p>
議長	<p>まさに〇〇委員は読書バリアフリー法の対象です。ぜひご意見を出していただいて、事務局はその意見を反映してください。</p>
委員	<p>私が勤務する学校では、今年の夏休みにマイサマーチャレンジとして自分がやりたいこと・興味のあることをじっくり時間をかけて実行したり調べるという宿題を全学年に出しました。また、それを子どもたちに校内テレビで伝えるときに、「自分は夏休み中に1万ページ本を読みます！」と子どもたちに宣言しました。そのため、石部図書館・甲西図書館通いを始めました。その結果、だいたい57冊くらいで1万ページを達成しましたが、達成後も面白いので、まだ増えています。その中で、図書館に通っていて改めて「いい図書館」だと実感し湖南省のみなさんは幸せだなと思いました。</p> <p>また、図書館に通う中で、夏休みなので親子連れも多く来館しており、その場で「読書感想文にはどんな本がいいの」と私にも聞かれましたし、普段は司書に聞いているんだなと思いましたし、実際に司書に聞いている親子も見ました。昨年度はコロナで第2四半期の利用が大きく減っていますが、今年度は若干増加しており、緊急事態宣言はありましたが、夏休みは子どもたちが図書館に通ういい時期であると思います。子どもを本好きにさせるのは学校だと思いますが、子どもが図書館好きになるためには夏休みが大事だと思います。そのため、小・中学生をターゲットにした工夫が何かがあれば教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今年度、2年ぶりに小学校低学年・高学年、中学生向けの3種類のブックリストを、</p>

	<p>過去5年以内くらいで出版された本のなかから、課題図書などを除いて作成しました。また、自分の疑問や知りたいということについて、意欲をもって調べていただきたいと思い、昨年度に引き続き「図書館を使った調べる学習コンクール」を学校を通じて児童生徒に周知していただき、今年度も開催しました。今年度は市内の小学校から24点の応募があり、これから審査をさせていただくことになっています。昨年度は28点の応募でしたので、同じくらい応募いただけたと思っています。</p> <p>また、移動図書館車の運行については、夏休み中休園していない保育園と、地域ステーションには行きました。普段園で利用している子どもが地域ステーションに家族などと一緒に利用し、「マツゾウくん」と声をかけてくれることもありました。</p> <p>ただ、図書館内でいろいろな相談を長時間対面で対応するというのは、コロナ禍でお断りさせていただいていますので、利用者の希望に対しできていないこともあったとは思っています。対面でできない場合の代替案を考えるべきだとは思いますが、とくに子どもにたいしては難しいと感じています。</p>
委員	<p>移動図書館の巡回回数が令和2年度と比べて2倍以上になっていますが、職員のオーバーワークになっていないでしょうか。今はコロナ禍のためイベントや図書館の利用者が少ないかもしれませんが、状況が改善し図書館に来館できるようになれば移動図書館がおろそかになったり、職員の勤務状況に影響が出るようなことはないでしょうか。</p>
事務局	<p>どのくらいの巡回回数が適切なのかを判断することは難しいのですが、現在、非来館型サービスと位置づけ、市内各まちづくりセンター+幼稚園・保育園・こども園の巡回希望園+学校から図書館が遠く巡回希望をいただいた下田小学校・水戸小学校に現在巡回しています。巡回スケジュールは1日1～3ステーション、1ステーション当たり30分でコース設定をし、運転はシルバー人材センターに委託し、職員は1人または2人が巡回しています。今のところ、例えば運動会で別日に巡回してほしいなどの日程変更に対応できる余裕はありますので、現在運行していない小規模園以外の園2園を追加で巡回する程度までは大丈夫ではないかと思っています。ただ、現在の移動図書館車は15年以上運行しており、走行距離数は少ないですが本を載せているため重量もありますので、更新することも視野に入れながら検討しています。</p>
議長	<p>移動図書館については、前々任期の図書館協議会から今後どうしていくか協議していますが、更新されるなら、特殊な車ですので、金額のこともありますし早めに陳情する必要がありますね。</p>
事務局	<p>今の移動図書館車と同じ積載量の車を購入すると、改造費を含めて2,000万円強かかります。市の財政もこのコロナ禍でかなり厳しいですが、移動図書館車が必要だという認識は市当局も持っていますし、教育部でも移動図書館車の運行を続行するという前提として話を進めています。ただ、市費のみでの購入は難しいので、令和2年度に近江八幡市が宝くじ助成金を購入費用の一部に充てて購入していますので、その方法や、クラウドファンディングやふるさと納税などを使って購入することも検討しています。令和4年度に購入するのは厳しいですが、そう遠くないうちに更新したいとは思っています。</p>
議長	<p>移動図書館での児童書の貸出冊数が令和2年度と比べて3倍増えています。ただ、他の市町では移動図書館車の運行を止めるところが多いと聞いています。移動図書</p>

	<p>館車を継続するためにみなさんに知恵を出していただいで、私はラッピングバスでもいいのではないかとも思っていますので、また、意見を聞く機会を作っていただくなりしていただけたらと思います。</p>
委員	<p>湖南省にはまちづくり協議会が7つあり、下田まちづくりセンターにも本を置いていますが、ほとんど利用されていません。ただ、図書館で借りると、図書館まで返しに行く必要があります。例えば、まちづくり協議会の建物は市所有ですし、まちづくり協議会の職員が常駐していますので、うまく使っていただいで、例えばよく読まれるジャンルの本をまちづくりセンターに置き、次回の移動図書館巡回時に引き上げるなどしてはどうでしょうか。</p> <p>また、今、専門的なことも携帯などでインターネットを使って調べることができる時代になりました。一方で、事典や全集などがゴミとして捨てられています。そのことも踏まえ、トータル的に考えて無駄のないように、市民が勉強しやすくなるようにマネジメントしていただきたいと思ひます。</p> <p>安くて、手軽で、使いやすく勉強しやすい環境を作るといふことで、まちづくりセンターが市内各地にありますので、図書館まで出向かなくても、電話をすればまちづくりセンターに本がそろっているといふことができると思ひます。</p>
議長	<p>各まちづくりセンターに置いている本といふのは、図書館で管理されているのでしょうか。それとも、各自で管理されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>各まちづくりセンターにある本については、図書館で管理はしていません。</p> <p>現在、返却については、まちづくりセンターでもすることができます。ですので、移動図書館や図書館で借りた本をまちづくりセンターで返却いただくことができます。</p> <p>また、かなり前になりますが、下田まちづくりセンターに甲西図書館の端末を置いて図書館分室として5年ほど運用していましたが、普通1万冊本がないと図書館としてはしんどいと言われていたが、そこまでの種類をそろえることは難しく、続きませんでした。本来中学校区に1つ図書館設置をと言われていたが、1万冊の新鮮な本を巡回するのは難しいです。本は年間8万~10万冊出版されており、そのうちマンガなどを除いた図書館の選書対象になる本が年間5万冊、週にすると1,000冊ありますが、予算も限られていますし、各中学校区計4館の図書館を設立し維持することは難しいため、移図書館車を運行し、借りていただき、返却は次回運行時かそれまでに図書館かまちづくりセンターでしていただくといふ形をとっています。</p> <p>その他として、団体貸出として児童書のセットを希望する園に長期間貸出をしています。また、児童書が中心ですが、昔の草の根文庫の本を希望する地域に貸出しています。昨日も地域のかたが100冊~200冊くらい借りていかれました。</p> <p>もし、こういうことができないかと尋ねていただきましたら、もしできなくても代案は提案したいと思ひますので、何かありましたらお尋ねいただけたらと思ひます。</p>
委員	<p>下田で毎週水曜日に開催しているらくっこサークルにお手伝いとして「読み聞かせコーナー」で読み聞かせをしました。子どもは何冊読むか目標を立てたりしていますし、読み聞かせだけでなく、子どもが読むのを聞くこともあります。もうちょっと気軽にこちらが読む本を指定するのではなく、選べたらいいなと思ひます。まちづくり協議会は市内に7つしかありませんので、また、目を配っていただけたらと思ひま</p>

	す。
委員	貸出人数の児童は何歳から何歳まででしょうか。
事務局	0歳から12歳までです。
委員	その中で、乳児・幼児・小学生と分けてデータを出したことはあるのでしょうか。
事務局	以前に出して分析したことはあります。
委員	<p>私は柑子袋会館で赤ちゃんの講座をしており最後に絵本を読んでいます。2か月や4か月の赤ちゃんとお母さんが参加していますが、まばたきもせずに見てくれます。音や絵には、小さい子にも惹きつけられるものがあるのだと思います。</p> <p>今はメディア・ITは広く普及し、大人にとっては便利なものですが、子どもの発達は100年前も今も小さいときにどんな環境で育ったのかというのがとても大事で、なぜ絵本がいいかという、必ず大人が読んであげるところだと思います。CDや電子書籍も便利だとは思いますが、子どもにとっては大人の声で本を読んでもらうのがどれだけ大切かということか、赤ちゃんの講座をしながら感じています。</p> <p>ブックスタートがコロナ禍でチケット制になり、図書館に向いてもらわないといけなくなったことで、本を受け取る人が減少したとのことでしたが、図書館に足が向き、本に興味を持つということは小さいころからの積み重ねが大事なので、乳幼児をターゲットにしたブックスタートから移動図書館につなげて、家族に本を読んでもらうということに繋げていってほしいと思います。また、小学校になって字が読めるようになって、子どもが望むなら親が読んでほしいと呼びかけてほしいです。自分が読む楽しみと、親に読んでもらう楽しみ、両方が今の子ども達にとって大事なのではないかと仕事柄感じています。また、図書館や園、小学校がそれぞれで頑張るのではなく、系統立ててそれぞれが協力して流れを作っていただけたらと思います。</p> <p>私事ですが、娘が小学校4年生の時に読んだ「長くつ下のピッピ」を大学生の時に読み、「不安だけどピッピのように新しい世界に冒険に出るんだと思って、不安が未来への希望に変わった」と、初めての給料と送ってくれた書留の中に書いて送ってくれました。一人ひとりの子どもにとって、本や図書館のことがとても大事なことになる可能性もある、また、どの子ども達にも同じように可能性があるのではないかと思います。たくさん子ども達、子どもを取り巻く家族の人たちが図書館で手に本を取るまちなってほしいです。ブックスタートについても、そういう機会が減らないように保健センターと図書館で協力して進めてほしいです。</p>
委員	私が知る限り、今の母親は働いている人が多く、子どもと話す時間がない親が多いです。〇〇委員のように子どもと話をし、大切に育てるような生活習慣を作ってほしいと思います。
委員	<p>会議の冒頭で事務局から貸出人数や利用冊数が減少していると説明がありましたが、このコロナ禍でも図書館を開館していただきありがたかったです。大津に住む友人が、市立図書館も県立図書館も休館したため、図書館難民だと話していました。</p> <p>また、このコロナ禍でも児童書の貸出冊数や貸出人数は増えているのは、今までの取り組みが功を奏し、他所との連携が実を結びかけているのではないかと思います。</p> <p>夏休みに孫と来館した際、自由研究のテーマを探している時に司書のかたに対応いただきました。その時に分からないことが分かるような本を選んでいただき、喜んでいました。今、レファレンスサービスはメールでも中止しているのでしょうか。</p>

事務局	<p>対面での長時間のレファレンスサービスは中止していますが、メールや電話などでの「こういう本を探している」などの問い合わせには対応しています。図書館ホームページにもその旨を何度か掲載していますが、そういうご質問をいただくということは、周知が足りないということです。来館時間を今は1時間としていますが、以前は30分以内にとコロナ禍で利用者に呼びかけていましたので、来館される前に利用者が求めておられる資料をどれだけ準備できるかについては、特に力を入れていたつもりです。そのため、具体的な資料名が分からずあいまいな情報でも、資料を用意するというレファレンスサービスは現在も実施しています。</p>				
委員	<p>前回の図書館協議会で甲賀市図書館が利用できるようになったとお聞きしましたので、さっそく利用しました。甲賀の教育に必要な人の資料室があり、甲賀市らしい図書の並びだなあと勉強になりました。</p> <p>しかし、この湖南市立図書館もとても素敵な図書館で、以前に京都・滋賀で放送されるラジオ番組で週に1回滋賀にまつわる本を紹介していたことがあり、山本素石の本や井上靖も有名な『星と祭』ではなく『四角な船』などをこの図書館で探していたのを思い出し、湖南市立図書館は、湖南市の資料を保存していただく場としても重要な場所ではないかと改めて認識しました。</p> <p>また、30年ほど前にラジオで甲西図書館に電話インタビューをし、今何をされているのかを訪ねた際に、数日後に鉄道模型運転会を開催しますとお知らせをしたら、後日京都から何人かで行ったというお手紙をいただいたことがあったのですが、先日京都から行ったという手紙を出した者ですという方にお会いしまして、「今もそのようなことをされているのならまた行きたいです」とおっしゃっていただきました。</p> <p>コロナ禍でイベントを開催するのは大変だとは思いますが、本を選んで借りるだけではなく、鉄道模型運転会や演奏会など図書館に人が集まる、図書館に行くきっかけとなるイベントを少しずつ復活してほしいです。今後何かイベントを開催される予定はありますか。</p>				
事務局	<p>図書館は「資料を集める」の他に、「集う・結ぶ・交わる」場所であり、まちづくりの一環を担う場所ですが、今コロナ禍で「交わる」が難しいため、デジタルで提供することが増えています。今年度後半に講演会を企画していますが、50人～60人の人に集まっていただけての開催は難しいため、webで参加いただく形を取らざるを得ないと思っています。内容は、デジタルアーカイブで湖南市の資源をインターネットを通じて提供する事業を現在進めており、デジタルアーカイブとリンクする形で、今一度湖南市を見つめなおしていただく講座を開催したいと考えています。</p> <p>また、現在は集っていただくイベントを開催することは難しいですが、できるような状況になれば復活していきたいと考えています。</p>				
議長	<p>甲賀市との相互利用はどのくらい増えていますか。</p>				
事務局	<p>6月～9月（6/1から実施）</p> <table border="0" data-bbox="399 1926 1244 2016"> <tr> <td>甲賀市民が湖南市立図書館を利用</td> <td>登録者 91人、貸出 2,638冊</td> </tr> <tr> <td>湖南市民が甲賀市図書館を利用</td> <td>登録者 50人、貸出 983冊</td> </tr> </table>	甲賀市民が湖南市立図書館を利用	登録者 91人、貸出 2,638冊	湖南市民が甲賀市図書館を利用	登録者 50人、貸出 983冊
甲賀市民が湖南市立図書館を利用	登録者 91人、貸出 2,638冊				
湖南市民が甲賀市図書館を利用	登録者 50人、貸出 983冊				
議長	<p>両方の図書館に行っても同じ資料しかなければ面白みがないので、協議会などを作っていただき、それぞれ個性が出てきたら面白い活動になると思います。まだまだ</p>				

	告知の段階だと思いますので、進めていただきたいです。
議長	委員のみなさま、熱あるご意見をありがとうございました。 では、事務局から、その他何かありましたらお願いします。
事務局	では、次回の会議の日程調整をさせていただきます。 (日程調整後) 次回は2月18日(金)午後4時から開催させていただきます。 ありがとうございました。

■閉 会

1) 第1回図書館協議会での質疑に対する回答

(質疑) 令和2年度湖南省市立図書館事業実績報告中、石部図書館の児童の新規登録者数が前年度比60%減の理由はなにか。

(回答) 一昨年度は下田小学校・水戸小学校のマツゾウくん運行を再開した年でした。久しぶりの運行であったため、カードの作成枚数が非常に多かったのですが、そのほとんどを石部図書館で作成しました。その一方、昨年度は新規運行園の利用カードも甲西図書館で作成したため、石部図書館で移動図書館利用者の利用カードを作成することはほぼありませんでした。そのため、新規登録者数が60%減となったと思われますし、昨年度がとびぬけて石部図書館の児童の新規登録者数が多くなっています。

(質疑) 読書管理をITで行うことができるのか。

(回答) 「読書管理アプリ」で検索すると様々なものが出てきます。ブックログ、読書メーター、読書管理ビブリア、Readeeなどが有名です。

2) あいさつ